

おわりに

最初の頃は、私にとつて徒歩の旅をすること自体が目的（何のためにやるのか）でありましたが、徒歩の旅を続ける中でそれは手段に変わりました。それは私流に言えば修行であり、目的は「修行をすることにより自己を高めること」と考えるようになりました。さらに自分の心身能力以上の目標（いつまでに何をどうするか）を設定し、チャレンジという要素も含むようになりました。

冒頭から硬い話になってしまいましたが、私は血液型B型のさそり座、下町生まれの性格（読者の皆様はお分かりかと思いますが）から、臨機応変、結果より過程重視、何でも楽しんでしまう性格のため、全てのチャレンジ・修行は終わってみれば、とても楽しい思い出になっています。文章と写真は財産です。

さて、今回の折乃笠部長徒歩の旅では、自身の知見や知識がさらに広くなり、新しい価値観や希少な経験を得ることができました。東京23区探索や神奈川探索により、日本そして日本人の素晴らしさを自分の五感と足で十二分に感じる事ができました。大月―日野

ノンストップ徒歩の旅により、口だけの世界から行動をやりきる世界、人生観が変わったような気がします。

全ての徒歩の旅から、多くの見聞と出会いと経験により多くの深い感動を得ることができました。魂を揺さぶられたと言っても過言ではないと思います。日本人に生まれてほんと良かったとしみじみ思いました。

これからの日本人は、未来に向かってどんな苦難があっても、今まで以上に日本人らしく適進していくことが使命だと思います。これから先、日本は必ずや明るい未来をつくる事ができると信じています。自分も日本人としても誇りを持ち、その一員になりたいと思います。

そのためにも、これからも自身のチャレンジ・修行を続け、自己を高めていくことが必要だと思っています。

今後、宗教とは何かについての探索の旅、人間らしく生きるにはどうすればよいかの追求、科学的に「心」とは何かの考察などを、再考したいと考えています。

さらに、自己を高めるとは、具体的に人の何のファクターがどのくらい高められたことなのか、結果日常生活にどのように良い影響を与えているのかを追求していきたいと思っています。

世のため、人のため、今まで苦勞をかけた家族のために、まだまだ突っ走ろうと思いません。

最後に、本書制作にあたりご尽力いただいた文芸社出版企画部の山田さん、編集部の今泉さんに感謝致します。

「刊行に寄せて」にて、身にあまるお言葉をいただきました会社時代直属の上司・元常務執行役員下成誠様にお礼申し上げます。

いろいろなご意見、叱咤激励、お酒のお付き合いをしてくれる、幼なじみ、学生時代の友人、元会社の先輩・同僚・後輩、ご近所さん、多くの知人の皆様に感謝申し上げます。

そして、いつも私をサポートしてくれる家内及び5人の子どもたち（うち2人はお嫁さん）に「いつもありがとうございます」です。

令和2年6月

折乃笠公徳